

日常に根付く“生きるアート”

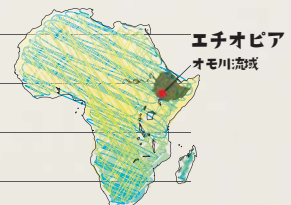
Ethiopia エチオピア



エチオピア南西部のアフリカ大地溝帯沿いを流れるオモ川の溪谷に行ってきました。この地域には15以上もの少数民族が暮らし、ペンナやムルシなどはボディーアートを施す民族として知られています。

ペンナの村では、竹馬に乗った子どもたちが突然道路に現れ、観光客を楽しませる光景をよく目にします。そんな子どもたちのお腹や足にも、お揃いのボディーアートを施されていました。塗料の材料は、油、粘土、灰、赤土など、全て天然のもの。子どもたちは結婚式などのお祝いの場にも、ボディーアートを施して出席します。

一方、ムルシには、唇や耳たぶにピアスの穴を開け、そこに陶器で作られた円盤状のプレートをはめ込むボディーアートもあります。最初は小さい穴から始め、プレートの重みで徐々に穴が大きくなるにつれ、はめ込むプレートも大きくしていきます。結婚式では、女性は唇にプレートをはめ込み、その大きさによって花婿からもらう牛の数が決まる習慣もあるそうです。



撮影：林 まゆみ（エチオピア/JICA専門家）

あなたの作品募集中！

「my photo」では、あなたが撮影した写真を募集しています。貧困や環境問題などをテーマにした写真、国内外問わず国際協力の最前線で活動に励む日本人や開発途上国の人の姿、テレビや新聞ではなかなか報じられない土地の風景や人々の暮らしなど、国際協力や途上国を身近に感じられる写真を、撮影時のエピソードを添えてご応募ください。応募作品の中から毎号1枚、本コーナーで紹介させていただきます。

応募条件 ①応募者本人が撮影した作品に限ります。②被写体に関する肖像権は、応募者の責任において了解が得られているものとします。③写真は、解像度が300万画素以上（目安）で撮影されていること、また画像の記録方式はJPEGを推奨します。

応募方法 お名前、連絡先（電話番号とEメール）、エピソード（300～350字）、記名の可否をご記入の上、写真と共に応募先アドレスまでEメールでお送りください。

*応募作品は本コーナーの他に、事前確認の上でJICAの広報活動に活用させていただく場合があります。ご記入いただいた個人情報はこれ以外の目的では使用いたしません。また、応募作品はご返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

応募 / 問い合わせ先

jica-photo@idj.co.jp

（『mundi』編集部宛）